

日本生命財団 児童・少年の健全育成助成

「第5回 実践的研究助成ワークショップ」のご案内

《2026年11月29日(日)》 ハイブリッド開催

参加
無料

後 援

大阪府教育委員会
京都府教育委員会
滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会
兵庫県教育委員会
和歌山県教育委員会
大阪府教育委員会
京都市教育委員会
堺市教育委員会

府県・政令指定都市別50音順

○日本生命財団は「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」を基本テーマに児童分野の研究に対して助成を行っています。
当助成は「実践的研究助成」と称し、研究チームは現場の実践家(教育・保育、心理、医療・保健・福祉現場の専門職、職員)を含めて構成する等を特色として、研究成果の社会還元・社会実装を目指しています。

○今回、助成に採択された9チームの研究成果を公開ワークショップ《11月29日(日)開催》にて発表いたします(プログラムは裏面ご参照)。

○ご参加は、**ご来場(大阪・淀屋橋)**、**オンライン**いずれも可能です。
お申込みは、下のQRコード、財団HPから。
<参加無料>

□「実践的研究助成」公募概要

助成期間	2年	1年
助成金額	最大400万	最大100万
助成対象	研究者、または実践家	研究者、または実践家 (博士課程在籍者含む)
研究組織	研究者と実践家双方が必ず参画する	

※公募については、11月下旬開始予定です。

2026年11月29日(日) 10:30-17:10

TKPガーデンシティ大阪淀屋橋
〒541-0042 大阪府中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋ビル

申込〆切日 11月24日(火)



ご案内・お申込み

右記QRコード、または
当財団ホームページから
お申込みください。



ニッセイ財団 児童研究 ワークショップ



* 席数には限りがございますので、申込はお早目に。

《プログラム》

10：30 開会挨拶 日本生命財団 理事長 三笠 裕司

10：40 実践的研究助成報告

『へき地の児童が英語を楽しく学べる年間計画の開発・実践・普及』

大野 恵理 氏（熊本大学 教育学部 准教授）

アドバイザー

東京大学大学院 教育学研究科 教授 浅井 幸子 氏

『子どもの言動を通じた園外保育環境の発展に関する研究』

石田 佳織 氏（筑波大学 人間総合科学学術院 芸術学学位プログラム 博士後期課程）

アドバイザー

武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授 倉石 哲也 氏

『未来を拓くため、子どもロコモの戦略的予防法の開発』

寺口 真年 氏（和歌山県立医科大学 医学部 整形外科科学講座 講師）

アドバイザー

京都市児童福祉センター診療所 診療所長 上野 千穂 氏

『子どもの多様な感覚特性に応じた環境調整の効果検証と支援法構築』

渥美 剛史 氏（杏林大学 医学部 病態生理学教室 助教）

アドバイザー

武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授 倉石 哲也 氏

『医療的ケア児を対象としたICTを用いたコミュニケーション支援開発』

佐々木 千穂 氏（熊本保健科学大学 教授）

アドバイザー

関西学院大学 名誉教授 松見 淳子 氏

『デジタル技術を介した小児・AYA世代がん患者への教育・メンタルの統合サポート開発』

長谷井 嬢 氏（岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療情報化診療支援技術開発講座 教授）

アドバイザー

神戸女子大学 健康福祉学部 教授 植戸 貴子 氏

『“きょうだい間性虐待”への対応におけるアセスメントモデル開発』

永井 友基 氏（武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科 博士後期課程）

アドバイザー

神戸女子大学 健康福祉学部 教授 植戸 貴子 氏

『里親支援センター設置後の市民協働型里親養育支援のあり方』

田北 雅裕 氏（九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授）

アドバイザー

活水女子大学 名誉教授 上出 恵子 氏

『コペアレンティングが児の情緒的健康や社会的能力に及ぼす影響』

中村 康香 氏（山形県立保健医療大学 教授）

アドバイザー

東北学院大学 人間科学部 教授 金井 嘉宏 氏

16：40 総括 日本生命財団 児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 倉石 哲也

17：10 閉会